

知っておきたい精神保健福祉の動き 2
お知らせします みんなねっとの活動 7

特集

全科が無料になる医療費助成——地域家族会のとりのくみ 8

【連載◎】

誰でもわかる認知行動療法《考え方を変えるとは?》(大野 裕) 16

私と家族の手記

統合失調症の娘のこと(なでしこ) 20

街の診療所からのお便り【連載 100】(増本茂樹)

…うつ病も辛いけど、統合失調症では、ずっと続く辛さです。… 22

トピックス (木戸義明)

障害年金 私の体験 (その2)

障害年金がさかのぼって5年間しか支給されないのは誤った運用という問題について 26

メンタル障害をサポートするための知識——薬物療法を正しく理解する●連載14(姫井昭男)

第2章「精神科の薬」の働き〈7〉 30

真澄こと葉のつれづれ日記 (第54回) 34

みんなのわ——読者のページ 36

全科が無料になる 医療費助成—— 地域家族会の とりくみ

特集

今回の特集は医療費助成です。医療費助成は、自立支援医療のように国がおこなっているものがありますが、ここで紹介するのは、都道府県市区町村が実施している助成制度です。精神科だけでなく全科の医療費が無料になるという助成制度について、当会の調査に基づき各地の実施状況を含めてお伝え致します。

医療費助成はどんな制度？

精神障がい者は、1993(平成5)年の障害者基本法改正により、それまで主に医療の対象者であったところから、障害者福祉の対象者として、障がい者としての位置づけが明確にされました。しかし、それをもって、身体・知的障がい者との障がい者間格差は解消されていま

せん。多くの都道府県、市町村は身体・知的障がいの重度障がい者については、全ての科目の医療費が無料で受けられます。なのに、精神障がい者については、精神科の通院医療以外の科目については対象とされていない所が多いのです。

今回の調査で、その医療費助成を実施している自治体の結果から二つのことに注目したいと思います。

- ①この医療費助成事業は国の補助事業ではないので国費は入っていません。これは老人医療費や子ども医療費も同じです。したがって県と市町村に実現を働き掛ける問題です。
- ②県が実施していなくても市町

別表 精神障害者手帳2級まで全科無料の市町村名

群馬県	伊勢崎市
神奈川県	相模原市、藤沢市、鎌倉市、海老名市、大磯町、二宮町
山梨県	県下全市町村
静岡県	長泉町
岐阜県	県下全市町村
愛知県	54市町村中38で実施 名古屋市、一宮市、岡崎市、瀬戸市、豊川市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、岩倉市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、長久手市、富山町、大口町、扶桑町、飛島町、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武人野鳥、幸田町、
三重県	桑名市、伊賀市
和歌山県	海南市、紀美野町、紀の川市、岩出市
鳥取県	鳥取市、岩見町、智頭町
兵庫県	尼崎市、西宮市、宝塚市、加古川市、高砂市、明石市

村で実施している所が多いということ。県がやらないので市町村もやれないわけではないということを示しています。県と市町村両方へ働きかける必要があります。

別表は、全国の精神科以外の一般医療費の助成状況の一覧表です。

①別表は、精神障害者保健福祉手帳1・2級を持っている人の通院のみに限った助成です。また、調査が確実ではないので抜けている市町村があると思われま。

②別表の他に、入院のみ助成しているところはあ

ります。1級のみ助成しているところもかなりあります。3級まで助成しているところもあります。これらも引き続き調査していきたいと思えます。

③表の自治体は、基本的には三障害同一の助成となっておりま。県によっては身体、知的でも重度（精神では1級に相当）のみの助成もあります。そういう所では精神が1級のみ助成でも他障害との格差があるといえま。こういう所では身体、知的も一緒になって中度（精神でいえば2級）までの助成となるように運動をした方が良いと思えます。

④身体的では基本的には県と市町村が二分の一の負担で助成

を行っています。

県レベルでおこなっている岐阜県、山梨県以外は身体、知的は県と市町村が二分の一ずつの負担でおこなっています。山梨県と岐阜県以外の市町村は、①市町村の全額負担でおこなっているところと、②県と市町村が二分の一の負担で助成をおこなっている所があると思われます。

医療費助成は家族(会)の活力となる

医療費助成を成功させたところでは当事者と家族の喜びは非常に多きものがあります。歯医者、血圧、糖尿病等は、当事者は親に遠慮して医者に掛からない人もいます。無料化されて当

事者が本当に元気になり、希望を持って生きていきます。精神疾患の治療にも良い結果をもたらします。家族会員も元気になり、活力が生まれ、そして会員増加にも結びついていきます。

それでは、各地域家族会の具体的なとりくみをいくつか紹介いたします（なお、各県の家族会連合会は、〇〇県連という表記にしています）。

■和歌山県

和歌山県における精神障害者の医療費助成は、重度心身障害児(者)医療費助成制度(略称…重心)が3市1町に適用されています(重心負担は県二分の一・市町村二分の一)。

平成5年障害者基本法が施行され、精神障・病者[・]が他の障害者(身体・知的)と同じく障害者と法的に明文化されました。

これを機に地域家族会が、海南市長に精神障害者も手帳を取得することで通院入院費を無料にと陳情を行いました。その結果平成8年に市議会で予算化され、手帳所持(1・2・3級)に保険適用の入院通院費など全て無料になりました。その他2市1町は、手帳所持(1・2級)に障害年金受給者(1・2級)に重心制度が適用されています。重心制度を導入するためには、家族(会)が当該市町村に二分の一を出してもらえようように陳情など働きかけることが大切だ

統合失調症の娘のこと

(東京都) なでしこ

今年20歳になる娘が13歳の時、学校に行けなくなり（1年位前から窓を閉めまわったり、蛇口を何度も閉めるなどがあり何かおかしいと思っていたのですが）、「病院には行かない。私は病気ではない」と言う娘を、無理やり心療内科に連れて行き、治療が始まりました。

薬で少し元気になった娘に、朝はきちんと起きて朝日を浴びたほうがいと外に連れ出し、家でも料理やお菓子づくりをさせたり、生活のリズムをしっかりとつけて、「何とかしなければいけない。自分が頑張らないといけない」と必死でした。

娘は「自分は醜い、自分が嫌

い」と言っつて、出かけるときはかならずマスクをかけるようになりました。

しかし、しばらくして、髪を金色に染めたかと思うと次は緑にというように、違う色に染めたりするようになり、さらには坊主にしたかと思うとつけ毛をつけてきたりするというような状態でした。

やがて、モデルになりたいと言いだし、オーディションを受けるため、面接に行ったりしてしました。しかし、何かあると顔や腕を傷つけてしまうので、私は娘の行動に一喜一憂していました。「やめとけ」と言いたいのですが、言えませんでした。

ある時、薬を飲んでいない娘をとがめると、夜の暗い雨の中を飛び出して教会の牧師のところに逃げ込んだこともありました。

しばらく行方がわからず、皆に探してもらいながら、どうしようもない無力感を感じました。病識がない娘に、「どうして前向きに病気を受けいれていかないの？ もっと気持ち話を話して！」と文句ばかりの私でした。

そんな時、カウンセリングの学びを受けるようになり、「私は、娘の話を聴いていなかった、聴けなかった。これでは娘が気持ちを抱えられない」とい

うことに気が付きました。

そして私自身、周りにばかり気を遣いながら生きてきた、自信のない弱い自分の姿にも気づくことができました。

自分の子育てが悪かったのだと思いつつ、娘が病気であつてほつとして、人の評価ばかり気になる、どうしようもない自分でした。

私の母は、非常に否定的なことばかり言う人で、こんな母のようにはないと肩肘張って生きてきました。自分の弱さを隠して生きてきたのです。

そんな自分でもこうして生きてこられた。娘が生きていけなはずはない、大丈夫と思える

ようになりました。

自分自身が生きづらさを感じて苦しかったのが、娘との関わりを通して楽になっていきました。感謝の気持ちでいっぱいです。

娘も私も生きていくだけでいいと思えるようになるのと比例して、娘も楽になってきているように思います。

娘はフットサルなど楽しくやっています。私は、今あるところで、できることをやっていたらと思っています。

支えてくださった方々、こうして振り返る機会を与えてくださったことを心から感謝します。